



九州旅客鉄道労働組合  
**No. 515 (2024.6.21)**  
 福岡市博多区博多駅前3丁目13-4  
 TEL 092-472-7950(代)  
 URL http://www.jr-krwu.jp  
 発行人/吉田祥司 編集人/青木幹雄



# 新卒社員186名全員が加入

## 労働条件向上にむけ 共に頑張ろう!!

J R九州労組は、2024年度入社の新卒社員186名に対する組合加入活動に取り組んできた結果、186名全員を新たな仲間として迎え入れることができた。

この結果は、各地方本部・支部、分会の役員をはじめ、組合員各位が労働組合の必要性や私たちの運動を訴え、組織一丸となって取り組んできた成果であり、この間の献身的な活動に感謝を申し上げる。私たちは、組織全体で新しい仲間を歓迎するとともに、本部、各地方本部・支部、分会が連携して、新入社員の方々の仕事への不安の解消などにむけて全面的にサポートをしていく。

なお、今後は労働条件の改善はもちろんのこと、組合員に対する福利厚生の一環として営利を追求しない各種共済制度の説明会などを開催しながら、組合員の可処分所得の向上につなげていく。

## 地方路線への理解を深める 地元企業と意見交換

J R九州労組は、5月22日に鹿児島県枕崎市で政策推進委員会のメンバーでフィールドワークを開催し、指宿枕崎線の鹿児島中央駅から枕崎駅間の現地視察と、指宿枕崎線の活性化に取り組んでいる民間団体「南九州鉄道プロジェクト」との意見交換会を行った。

意見交換会では、指宿枕崎線の直面する課題や沿線の活性化の取り組みなどについて意見交換し、改めて地域公共交通の課題について認識を共有した。



中原代表(中央左)葛岡事務局長(中央右)と参加者

地域公共交通に関する課題は、人口減少により利用者が大きく減少し、鉄道のみならず、バスやタクシーなど各モードが、大きな危機意識を持っている。

J R九州労組はこうした課題も含め、J R連合の政策提言について、関係者への理解浸透を図るとともに、J R九州に関わる政策課題についても認識の共有や実態把握に取り組むべくフィールドワークを実施している。

今年是指宿枕崎線の現地視察と、指宿枕崎線の活性化に取り組んでいる民間団体「南九州鉄道プロジェクト」との意見交換会を実施

し、政策推進委員会のメンバー12名が参加した。

指宿枕崎線は、昨年11月に会社が路線の存続が廃止かの前提を置かず、沿線自治体と将来の地域公共交通のあり方を議論したいとの意向を表明しており、指宿枕崎間を対象としている。

現地視察では、往路を列車に乗車し、鹿児島中央、枕崎間のお客さまの乗降や線路の状態、駅や周辺の環境などを確認した。なお、復路は枕崎、鹿児島中央間をバスで移動し、鉄道だけでなく、地域の交通事情を体感した。

意見交換会では最初に、J R連合及びJ R九州労組が取り組む、交通重点政策の「改正地域交通法の趣旨に基づく真に持続可能な交通体系の構築に向けた政策の実施」について提言の説明を行った後、南九州鉄道プロジェクトの代表を務める、中原水産株式会社の中

# 青年・女性委員会 リバティユースラリー in 熊本開催!!

J R九州労組中央本部青年・女性委員会は5月18日から19日にかけて、熊本県宇都宮の里で、「リバティユースラリー2024 in 熊本」を開催した。

リバティユースラリーは青年・女性委員会が主催する一大イベントで、J R九州労組青年・女性委員会のみならず、J R連合九州地協やグループ労組にも呼び

掛け開催しており、今年もJ R九州労組、J R連合九州地協から、52人が参加した。

コロナ禍で組合員同士の交流の機会が減少し、青年・女性委員会の活動の大きな柱でもある、「仲間づくり」も影響を受けた。こうした経験を踏まえ、今年のスロガンを「やびやあ熊本ぎゃん行ってぎゃん楽しもう!」と題し、ライフスタイルや価値観の多様性が広がりをもたらし、改めて対面でのコミュニケーションの大切さと、全員が同じJ R連合に集う仲間であるという想いを込めた。

開会式終了後に各班に分かれ、自己紹介などのあと開催地である熊本県に関するクイズ(アイスブレイク)で、交流を図った。続いてのレクリエーションでは、各班対抗でポータボールを行い、チームのために一生懸命な姿に、絆の芽生えを感じながら、大いに盛り上がった。懇親会では、チーム内の交流はもちろん、時間の経過とともに



意見交換の様子

原晋司氏と同プロジェクト事務局長の葛岡克紀氏から活動の紹介や分析したデータについて説明を受けるとともに、鉄道が枕崎エリアに与える広告宣伝効果など金額として見える化する重要性と、定量化が難しいマイルール意識や指宿枕崎線に携わり共に生きる人たちの心情なども考えていく必要性について話があった。

続いて行われた、質疑では、参加者から「様々な活動がされているが、行政をどうやって巻き込んでいくのか」「肥薩線の復旧のキ

最後にJ R九州労組の大久保浩書記長が「J R九州は発足以来、地域と共に発展する総合サービス企業を目指してきた。地域の持続的な発展が会社の持続的な成長に繋がると考えており、どのような施策を進める中でもステークホルダーがwin-winであることが大切である。地域の皆さまと共に知恵を出し合い、よりよい九州の未来をつくってほしい。」と挨拶を行い、意見交換会は締めくくられた。J R九州労組は、今後様々な組織の方々と意見交換を重ね、知見を得ながら政策活動を推進していく。



青年・女性委員会



懇親会の様子



白熱したポータボール

に参加者全員で交流を深め、ユースラリーの目的でもある「仲間づくり」組織システムを超えたつながりを実感した。

二日目は施設内外の清掃ボランティアを行い、参加者全員が清々しい笑顔いっぱいの中で協力して終了した。

▼稲葉稜青年・女性委員長 参加者から「楽しかった」、「また参加したい」との感想が多かった一方で、「労働組合がこのような活動をしていること自体知らなかった」といった声もあった。組合の活動が組合員に届いていないことを課題とし、たうえで、ユースラリーを通じて「労働組合の役員をやってみよう」との声も挙がったことは、青年・女性委員会としても大きな一歩であり、来年度も引き続きユースラリーの開催に向けて準備を行い、仲間づくりや組織・システムを超えたつながりを通してJ R九州労組の組織力強化につなげていきたい。

# J R九州高速船 夏季手当妥結

## 2・10ヶ月 一時金20万円

(期間率を適用)

5月23日、中央本部及び船舶分会は、2024年度夏季手当の要求について第2回団体交渉を行い、会社から「基準内賃金に2・10箇月を乗じた額に一時金20万円を加算した額を、6月28日以降準備でき次第支払う」との回答を受けた。

交渉では、今後の更なる経営回復と発展には、組合員のモチベーション向上が必要不可欠であり、そのた

できた点について、コロナ禍以来、初めて年間を通じてQUENBEETLEが運航できたこと、インバウンドにより日韓のお客さま以外の乗船率が上昇したことなどを要因として挙げた。一方で経常利益、当期純利益とも対計画では下回っており、加えて劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)の影響などで、韓国からのお客さまが減少傾向となっているなど、今後の状況を注視していく必要があると、夏季手当の支給額について慎重な姿勢を

## J R九州高速船夏季手当回答

### 1. 基準額

(社員および船員)

2024年6月1日現在における、辞令面による基準内賃金に2・10(支給月数)を乗じた額に一時金20万円を加算した額とする。

(パートナー社員及びパートナー船員)

2024年6月1日現在における、辞令面による基本賃金に次の支給月数を乗じた額に一時金20万円を加算した額とする。

雇用期間3年以上の者	1.58箇月
雇用期間3年未満の者	1.05箇月

### 2. 支払日

2024年6月28日以降準備でき次第とする。

※一時金については期間率を適用する。

### 連合福岡

## 交通・運輸に関する政策・制度要求を学ぼう

連合福岡の交通・運輸部門連絡会は「連合福岡の交通・運輸に関する政策・制度要求学習会」を5月18日に開催し、J R連合から4人が参加した。

共交通の現状と県の取り組みが紹介され、その後は、連合福岡の政策・制度要求の説明とグループディスカッションを行った。会場では、それぞれの産別の状況や課題について意見交換を行ったが、多くの組織から

人材の不足や、若手社員の離職について意見が出され、全体で今後の課題について認識を共有した。



会場の様子

## 安全は確認と職場から!

### 安全衛生学習会を開催



大分地本 安全・衛生委員学習会

見せていた。粘り強く協議を続けた結果、会社は、「夏季手当については、今後も安全最優先で業務に取り組み、業績回復に向け組合員の協力・努力に期待し、一時金を含め精一杯の回答である。なお、一時金の支給額については、一律ではなく期間率を算定し、支給したい」と

の考えを示した。中央本部及び船舶分会は、会社の回答が要求と乖離していることに不満が残るものの、昨年度から支給月数で0・3ヶ月分上回っていることや組合員の労苦に対する、一時金という形で評価が示されたこと、組合員の生活設計等を総合的に勘案し、妥結した。



説明を行う熊本地本井手書記長

J R九州労組は、職場から安全を創るために重要な安全衛生委員のスキルアップを目指し、これまで各地本・支部で趣向を凝らした学習会を意見交換会を開催しており、5月15日、25日の両日、大分・熊本地方本部でそれぞれ開催した。

### 〈大分地本〉

中央本部の大久保浩書記長が、労働災害の発生状況や安全衛生委員会の設置の目的について説明するとともに、安全衛生委員の役割やJ R九州労組の安全への取り組みについて講義を行い、その後は出席者と意見交換し、職場からの安全の確立について心あわせを行

### 〈熊本地本〉

安全衛生学習会と安全デイスカッションを開催し、熊本地方本部の井手正成書記長が講師を務めた。安全デイスカッションでは、安全衛生委員会の開催状況や委員会が改善された内容等が報告され、出席者間での情報を共有と、今後も安全衛生委員会の活動を活性化させていくことを確認した。

### ◇

コロナ過でのコミュニケーション不足から労働災害が増加しており、職場で働くすべての仲間が互いに声を掛け合って、事故防止の取り組みを展開するよう要請する。



5月26日、小倉工場支部は、4年ぶりのボウリングレクを開催し、家族を含め、27人が参加した。高崎克典支部執行委員長は「コロナ禍で、なかなか組合員同士の交流の機会が持てなかった。今後も計画をしながら、多くの参加者が集まるようにしたい」と述べた。

## 北九州市議会議員選挙で組織内公認を決定

中央本部は、地域公共交通の活性化などの労使での解決が困難な政策課題への対応には組織内議員の発掘と育成が必須であるとの認識に立ち、2025年1月末または2月上旬に実施予定の北九州市議会議員選挙において、組織内候補として山田大輔氏の公認を決定した。

### 常に熱く、常に全力!! 山田だいすけです

はじめまして、山田大輔(やまだだいすけ)です。

出身は北九州市で、2005年に入社し、現在は営業部総合販売センターに勤務しています。

昨年度までキャリアアップ休職を活用して、以前から関心をもっていたESD(持続可能な開発のための教育)推進活動に取り組み、子ども向けの環境教育イベントなどの企画・運営を行ってきました。地元北九州やJ R九州を取り巻く課題解決にむけ、「常に熱く、常に全力!!」で頑張ります。



山田大輔氏

## 4年ぶりのレクに笑顔

## ようこそJ R連合へ 貨物鉄産労で組織拡大

同じJ R連合の仲間である、貨物鉄産労九州地区本部で2名の組織の拡大が行われ、5月22日に貨物鉄産労が加入者歓迎会を開いた。J R九州労組からは、吉田祥司中央執行委員長が参加し、新しい仲間との交流

を深めた。他の地域でも組織拡大が報告されるなど、民主化運動は着実に実を結んでおり、今後もJ R連合の仲間と連携をはかり貨物・北海道・東日本の仲間の支援を行っていく。

みんなで分かち合う助け合いの原点

## 総合共済

結婚や出産、万一の場合の保障等 人生の様々なシーンで お祝い金等\*が支払われます。

掛金は毎月1,000円

ご加入・給付の申請はお近くの分会役員まで!

※結婚: 5万円、本人死亡: 70万円等

